

各理事の氏名・選任の観点（2023年6月25日選任）

氏名	略歴	役職	当連盟理事として特に期待する知識・経験・能力の観点 (1)(2)(3)は、脚注参照		
			(1)	(2)	(3)
中森 邦男	1986～2022年（財）日本身体障害者スポーツ協会（現：（公財）日本パラスポーツ協会）勤務 2022～2023年当連盟理事兼事務局長就任 現在：（一社）スポーツ・コンプライアンス教育振興機構理事	代表理事（理事長） 総務部門担当	○	○	○
猪飼 聡	現在：（公財）京都市障害者スポーツ協会勤務 2013～2021年当連盟理事（常務理事）として、競技会開催及び運営部門に携わる	常務理事 競技会開催及び運営部門担当	○	○	○
小又 美香	現在：安芸高田市地域振興事業団吉田温水プール管理指導 2021年から当連盟理事（常務理事）として普及及び研修部門に携わる	常務理事 普及及び研修部門担当	○	○	○
森井 貴志	現在：社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会職員 2013～2021年当連盟理事（常務理事）として競技力向上部門に携わる	常務理事 競技力向上部門担当	○	○	○
鎌田 美希	2013～2014年アスリートとして活躍（2013年アジアユースパラ競技大会水泳競技、2014アジアパラ競技大会水泳競技でメダル多数獲得） 現在：ソフトバンク（株）社員	常務理事 総務部門のうち広報部門担当	○	○	
藤田 多佳子	1998～2006年アスリートとして活躍（2000シドニーパラリンピック、2004アテネパラリンピック等メダル獲得） 2021年神戸市退職 2017年から当連盟理事として総務部門に携わる	理事	○	○	
立山 菜津子	現在：作業療法士としてリハビリテーション関係の病院にて勤務 2020年度から当連盟選手発掘事業、女性アスリート等支援委員会の事業担当として活動	理事	○	○	

久保 大 樹	現在：当連盟アスリート委員会委員長 現在：日本パラリンピック委員会アスリート委員会委員 現在：クボタロジスティクス株式会社勤務	理事	○	○	
竹田 勉	現在：九州障がい者水泳連盟会長	理事 (外部)	○	○	
齋藤 真一	現在：東北身体障がい者水泳連盟理事	理事 (外部)	○	○	
齋藤 由紀	現在：(公財)日本水泳連盟副会長	理事 (外部)		○	
谷口 裕美子	現在：(一社)日本知的障害者水泳連盟運営委員長 2021年当連盟理事就任	理事 (外部)	○	○	
豊田 律	現在：(一社)日本デフ水泳協会代表理事 2021年当連盟理事就任	理事 (外部)	○	○	
山本 恵理	2006年から当連盟ボランティアスタッフとして活動 現在：(公財)日本財団パラスポーツサポートセンター職員 2016年パラ・パワーリフティング選手 2021年当連盟理事就任	理事 (外部)		○	
山口 一郎	1990～2023年(株)毎日新聞社オリンピック・パラリンピック室委員等を歴任退職 現在：(社福)大阪市障害者福祉・スポーツ協会職員 日本パラスポーツ協会上級パラスポーツ指導員等各種スポーツに関する資格を保有	理事 (外部)		○	
竹村 瑞穂	現在：東洋大学健康スポーツ科学部准教授 (スポーツ哲学、スポーツ倫理学、生命倫理学専攻)	理事 (外部)		○	

(注) 役員候補者の選考要領(2021年3月9日制定)から抜粋

1 役員選考に関する基本的な考え方

ボランティア精神と共生社会に対する理解及び高い倫理観を持ち、人格高潔で心身ともに健康な者であって以下の項目の何れかに該当する者とする。

- (1) パラ水泳界に造詣が深く、パラ水泳に精通し、本連盟以外の団体との連携・協力できる者
- (2) スポーツや障がいに関する専門的知識を持ち、本連盟の活動に賛同し、協力できる者
- (3) 本連盟の目的を理解し、その達成に向けて、諸会議・事業の企画、立案、検証及び評価等の法人運営並びに資金確保に適切に対応できる者